

医事法学

責任者名：近藤 真啓(法医学 准教授)

学期：前期

対象学年：6年

授業形式等：講義

◆担当教員

近藤 真啓(法医学 准教授)

堤 博文(法医学 専任講師)

岡野 雅春(法医学 助教)

網干 博文(法医学 特任教授)

◆一般目標 (GIO)

医療は多岐にわたる法律により規制されている。医業を正当に行っていくためには、それらの法律を正しく解釈し、遵守していかなければならない。ここでは、歯科医療に関連する法規のうち、特に、医療法、歯科医師法、歯科衛生士法及び歯科技工士法に規定されている内容について深く理解する。また、人々の医療における権利意識が高まる中、患者へのインフォームドコンセントと患者の自己決定権の重要性について理解するとともに、医療現場で発生した事故や過失への対応と歯科医師が問われる責任について学ぶ。

◆到達目標 (SBOs)

歯科医療を行うにあたって、法律を関連付けることができる。

医療法を概説できる。

患者へのインフォームドコンセントと患者の自己決定権について説明できる。

歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法を説明できる。

歯科医師の義務と禁止事項を列挙することができる。

歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任（刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分）について説明できる。

医療事故と医療過誤の違いを説明できる。

医療法に基づく医療事故調査制度について説明できる。

◆評価方法

全講義の受講を前提とし、評価は、2回の平常試験（各20%）及び定期試験（60%）で行う。

平常試験日：

第一回 5/15（月）

第二回 7/6（木）

*第二回に関しては、法医学演習のシラバスを参照すること。

フィードバック：

平常試験終了後、模範解答の掲示または解説をおこなう。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
近藤 真啓	月曜日 12:00～13:00	deho20266@g.nihon-u.ac.jp	

	法医学講座	03-3219-8129	
堤 博文	月曜日 12:00～13:00 法医学講座	deho20266@g.nihon-u.ac.jp 03-3219-8129	
岡野 雅春	月曜日 12:00～13:00 法医学講座	deho20266@g.nihon-u.ac.jp 03-3219-8129	
網干 博文	月曜日 12:00～13:00 法医学講座	deho20266@g.nihon-u.ac.jp 03-3219-8129	

◆授業の方法

授業は講義を中心に、随時、演習問題を織り交ぜながら進める。

【実務経験】

近藤真啓：生命科学研究および法医学分野での実務経験を踏まえ、歯科医療を行う上で遵守すべき法律及び医療を行う上での倫理、患者の権利について説明します。

堤博文：法医学講座での実務経験を踏まえ、歯科医療で問題となる医療行為の倫理について説明します。

岡野雅春：生命科学研究および法医学分野での実務経験を踏まえ、死体現象や性別の判定法について説明します。

網干博文：法医学分野での実務経験を踏まえ、法律的に問題となる医学的事項を中心に、医療行為、承諾と説明など医療倫理的な面についても解説しながら講義を進めます。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	歯科法医学（2023）専門歯科学ー法医学演習ー	日本大学歯学部法医学講座	蓼科印刷株式会社	2023
参考書 1	スタンダード社会歯科学 第7版	石井拓男	学建書院	2018
参考書 2	歯科六法コンメンタールー歯科関連法律の逐条解説ー	社会歯科学会	ヒョーロン	2018
参考書 3	医療六法（令和5年度版）		中央法規出版	2022
参考書 4	法歯科医学 第2版	高橋雅典	永末書店	2022
参考書 5	法医学 改訂4版	福島弘文	南山堂	2022

◆DP・CP

DP1. 歯科医師としての責務を理解し、患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもって医療を実践することができる

能力

コンピテンス 1: 歯科医師としてのプロフェッショナリズム

1-1 社会規範を理解し、行動できる。

1-2 歯科医師としての責務を理解し、行動できる。

1-3 歯科医師法および関連法規・規範を遵守する。

1-4 患者の立場や価値観を尊重し、公正な医療を提供する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

授業相当時間を、それぞれ予習および復習の時間に充てること。

◆全学年を通しての関連教科

医療と倫理（2年前期）

プロフェッショナリズムと行動科学（2年後期）

医療の情報化・国際化（6年前期）

地域保健学（6年前期）

歯科保健医療と社会（6年前期）

法医学演習（6年前期）

◆予定表

但し、第 13-21 回は、法医学に関連する講義および実習を行う。

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.1	1	1. 医事法学総論 (参1) pp. 33-69, 71-83, 95-111 (参2) pp.10-29	・法の体系について説明できる。 ・条文の構成(条・項・号)について説明できる。 ・人権の保障, 医療事故の責任, 生命倫理の尊重, 保健医療行政の後見的役割など, 医事法学の課題を述べることができる。 ・歯科医師をとりまく法律の種類, 機能及び目的を概説できる。	近藤 真啓	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規
2		4.1	2	2. 医療法(1) 医療法概要 (参1) pp.33-54 (参2) pp.23-24, 122-199	・医療法が成立した経緯を説明できる。 ・医療法と歯科医師法との関連について概説できる。 ・医療そのものについて説明できる。	近藤 真啓	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規
3		4.1	3	3. 医療法(2)	・医療施設の定義を説明できる。	近藤 真啓	B-2-1) 歯科医

				<p>医療機関の開設管理と医療安全・医療計画 (参1) pp. 33-54 (参2) pp. 122-199</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設の種別の述べることができる。 ・医療施設数の推移について述べることができる。 ・医療施設の開設あるいは廃止について説明できる。 ・医療施設の広告規定について説明できる。 ・入院退院時の書面作成・交付について概説できる。 ・医療安全管理について説明できる。 ・医療安全支援センターの機能について概説できる。 ・医療事故調査制度について概説できる。 ・医療監視について概説できる。 ・医療計画について説明できる。 ・5疾患5事業について概説できる。 ・在宅医療における医療連携体制について説明できる。 ・医療介護総合確保法, 地域医療構想について概説できる。 		<p>師法・歯科医療関係法規</p>
4		4.27	3	<p>4. 医の倫理 (参1) pp.1-18</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医の倫理と生命倫理, 患者の権利に関する規範について説明できる。 ・臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を説明できる。 ・患者の自己決定権と患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ・インフォームド・コンセントの意義, 重要性及び必要な説明事項を述べることができる。 	近藤 真啓	<p>B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規</p>
5		5.1	5	<p>5. 歯科医師法 (1) (参1) pp.55-59 (参2) pp.32-63 (参3) pp.1962-2033</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師法の歴史を概説できる。 ・歯科医師の任務について説明できる。 ・歯科医師免許取得の欠格事由について説明できる。 ・歯科医師国家試験の受験資格につ 	近藤 真啓	<p>B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規</p>

					<p>いて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修および研修医の義務について概説できる。 ・歯科医籍の登録事項について説明できる。 ・歯科医師免許の取り消しと業務停止について説明できる。 		
6		5.1	6	<p>6. 歯科医師法 (2) (参1) pp.55-59, 95-97, 127 (参2) pp.32-63 (参3) pp.1962-2033</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師の義務と禁止事項について説明できる。 ・応招義務, 診断書交付義務について説明できる。 ・診断書交付時の注意や罰則について説明できる。 ・歯科医業の独占と名称独占の意義を説明できる。 ・無診察治療等の禁止について説明できる。 ・療養方法等の指導義務について、法的根拠は何かを説明できる。 ・処方箋記載事項および交付時の注意事項について概説できる。 	近藤 真啓	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規
7		5.8	5	<p>7. 歯科衛生士法 (参1) pp. 60-62, 74-76 (参2) pp.18-19, 64-93 (参3) pp. 2656-2706</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の資格の成り立ちと目的を説明できる。 ・歯科衛生士の業務とその法的根拠を説明できる。 ・歯科衛生士の免許に関する手続きについて説明できる。 ・歯科衛生士法で規定される歯科衛生士の義務・責務を説明できる。 ・絶対的歯科医行為と相対的歯科医行為の違いを説明できる。 ・歯科医療関係者との連携について概説できる。 	岡野 雅春	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規
8		5.8	6	<p>8. 歯科技工士法 (参1) pp. 63-66, 74-76, 88-89 (参2) pp. 20-22, 94-121 (参3) pp. 2707-2755</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師をとりまく医療スタッフの業務範囲を説明できる。 ・歯科技工士法の制定の経緯, 目的などを概説できる。 ・歯科技工士法は, 業務に関する人のみならず歯科技工所の施設をも規制する法律であることを説明でき 	近藤 真啓	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規

					<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工指示書の記載事項とその保存義務について説明できる。 		
9		5.11	7	<p>9. 医師の注意義務・医療行為</p> <p>(参1) pp. 110-111</p> <p>(参2) pp. 32-93, 407-409</p> <p>(参5) pp. 315-325</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・注意義務の法的根拠を概説できる。 ・民法上は受任者の注意義務（善管注意義務）違反，刑法上は業務上過失致死罪に問われることを説明できる。 ・注意義務の分類，注意義務の分類の二面性および医療にまつわる水準について説明できる。 	網干 博文	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
10		5.11	8	<p>10. 刑法及び民法上の義務と禁止事項</p> <p>(参1) pp. 58, 110-111</p> <p>(参2) pp. 32-93, 406-409</p> <p>(参3) pp. 301-325</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・患者に関する秘密を話しても秘密漏泄罪に問われないのはどんな場合かについて説明できる。 ・医師の虚偽診断書作成の罪とは何か，虚偽の記載とは何か，証明文書の三型とは何かについて説明できる。 ・無診察診断書と虚偽診断書の作成の罪が同時に成立した場合の責任について説明できる。 ・国公立病院に勤務する医師の虚偽私文書作成の罪は，公文書偽造に問われ，罪が重くなることを説明できる。 ・債務不履行と不法行為による損害賠償責任について概説できる。 ・使用者責任，共同不法行為責任および工作物の占有権について概説できる。 ・歯科医師には鑑定および証言の義務のあることを説明できる。 ・鑑定を依頼される場合はどのような手続きが必要か，また裁判所などにおいて証言を拒否し得る場合はどのような時かなどについて説明できる。 	網干 博文	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規
11		5.15	5	<p>11. 医療事故・医療過誤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故・医療過誤について説明できる。 	堤 博文	A-1-3) 歯科医師としての責

				(参3) pp. 313-325	<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故発生の要因について概説できる。 ・医療事故を分類できる。 ・医療過誤の成立要件について概説できる。 ・医療事故発生時の一般的な注意点について説明できる。 ・医事紛争における歯科医療の特質を説明できる。 ・医療事故が発生した時の医師に対する社会的制裁(マスコミ報道)と法的制裁(民事的制裁, 刑事的制裁, 行政処分)について説明できる。 ・民事事件の法的解決方法と順序を説明できる。 ・判決, 医道審議会, 行政処分およびリスクマネジメントについて説明できる。 		務と裁量権
12		5.15	6	医事法学平常試験 (1) 「平常試験の解説」	<ul style="list-style-type: none"> ・第1~8回講義の範囲についての試験および解説により授業内容の理解度及び習熟度を振り返る。 	近藤 真啓	
13		5.19	3	1. 法医学総論 1)法医学の社会的役割と歴史 2)法医学の業務, 鑑定 (参1) pp.1-18 (参5) pp.1-11, 278-282	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社会生活において, 様々な問題が発生する。社会の法秩序維持のために数多い解決手段のなかで医学, 歯学的な検証が功を奏する機会が多いことを説明できる。 ・人の死とは何か, 我が国の異状死の取扱い方について説明できる。 ・異状死について理解するとともに, 日本における取り組みの現状を説明できる。 ・法医学分野における個人識別では, 何を指標として用いるのかを列挙できる。 	近藤 真啓	B-2-3) 歯科による個人識別 C-5-7) 個体の死
14		5.22	5	2. 検死と法医解剖 (参5) pp. 5-11, 337	<ul style="list-style-type: none"> ・検死の目的について説明できる。 ・法医解剖の種類と各々の特徴について説明できる。 	近藤 真啓	C-5-7) 個体の死

15		5.22	6	3. 死因究明 (参5) pp. 5-11, 337	<ul style="list-style-type: none"> ・死因究明等の推進に関する法律が施行された経緯について概説できる。 ・死因身元調査法における「調査法解剖」の内容について概説できる。 ・死因身元調査法における身元確認の重要性について説明できる。 ・死因身元調査法における歯科医師としての関わりを説明できる。 	近藤 真啓	C-5-7) 個体の死
16		5.25	7	4. 死体現象 1)早期死体現象 (参4) pp.17-25 (参5) pp.17-23	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトが死亡して死体となった時から、その死体に現れてくる様々な変化や現象について総合的に説明できる。 ・早期死体現象の発生機序とその社会における意義について説明できる。 	岡野 雅春	C-5-7) 個体の死
17		5.25	8	5. 死体現象 2)晩期死体現象 3)特殊死体現象 4)死体の物理的損壊 5)死後経過時間の推定 (参4) pp.17-25 (参5) pp.24-28	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトが死亡して死体となった時から、その死体に現れてくる様々な変化や現象について総合的に説明できる。 ・晩期死体現象の発生機序とその社会における意義について説明できる。 ・特殊死体現象の生成機序とその意義について説明できる。 ・死体現象から死後経過時間を推定する方法について説明できる。 	堤 博文	C-5-7) 個体の死
18		5.26	3	6. 血液型多型 1)血液型とは 2)抗原の種類による血液型の分類 3)ABO, Rh およびMN 血液型の特徴 (教1) pp.1-19 (参5) pp.211-227	<ul style="list-style-type: none"> ・A B O式を始めとする各種血液型の特徴を説明できる。 ・血液型が個人識別にどのように応用されているかを概説できる。 ・A B O式, R h 式, M N式システムの抗原構造(抗原決定基)および抗体について説明できる。 ・白血球型, 血清型及び酵素型の多型について説明できる。 ・血液型判定における抗原抗体反応について説明できる。 	近藤 真啓	B-2-3) 歯科による個人識別
19	A	5.29	5	7. 血痕検査実習	<ul style="list-style-type: none"> ・血痕検査の意義及び手法について 	近藤 真啓	B-2-3) 歯科に

- 20	B	5.29	～ 6 7 ～ 8	1)血痕検査の目的 2)血痕予備試験 3)人獣血鑑別 4)血液型検査（個人鑑別） （教1）pp.1-19	説明できる。 ・ロイコマラカイトグリーン検査の原理と意義，及びその手順を説明できる。 ・OCヘモキャッチ法の原理と検査の意義，及びその手順について説明できる。 ・解離試験によるABO式血液型検査の原理と手順を説明できる。 ・実際に行った解離試験の結果を判定できる。	堤 博文 岡野 雅春 網干 博文	よる個人識別
21	A B	5.29 5.29	7 5	8. DNA 多型 （1） 1)一塩基多型 （SNP） 2)DNA の反復配列 （STR） 3)DNA 型検査 （教1）pp.20-21 （参5）pp.228-239, 242	・一塩基多型とはなにかについて説明できる。 ・DNA の反復配列の種類（ミニサテライト，マイクロサテライト）と特徴について概説できる。 ・法医学分野で利用されているDNA 型検査法について説明できる。	近藤 真啓	B-2-3) 歯科による個人識別 C-2-2) 遺伝子と遺伝
22	A B	5.29 5.29	8 6	9. DNA 多型 （2） 4)パプロタイプ 5)ミトコンドリアDNA 多型 6)DNA 型鑑定 （教1）pp.20-21 （参5）pp.228-239, 242	・ハプロタイプについて説明できる。 ・ミトコンドリアDNA の多型による個人識別について説明できる。	岡野 雅春	B-2-3) 歯科による個人識別 C-2-2) 遺伝子と遺伝

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
	863	堤 博文
	959	網干 博文
	1533	近藤 真啓
	3546	岡野 雅春

